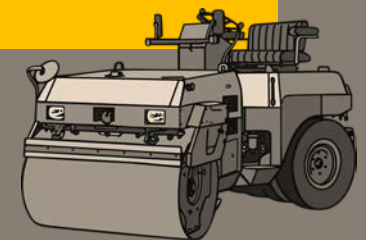


# 道路の舗装工事とは・・・？

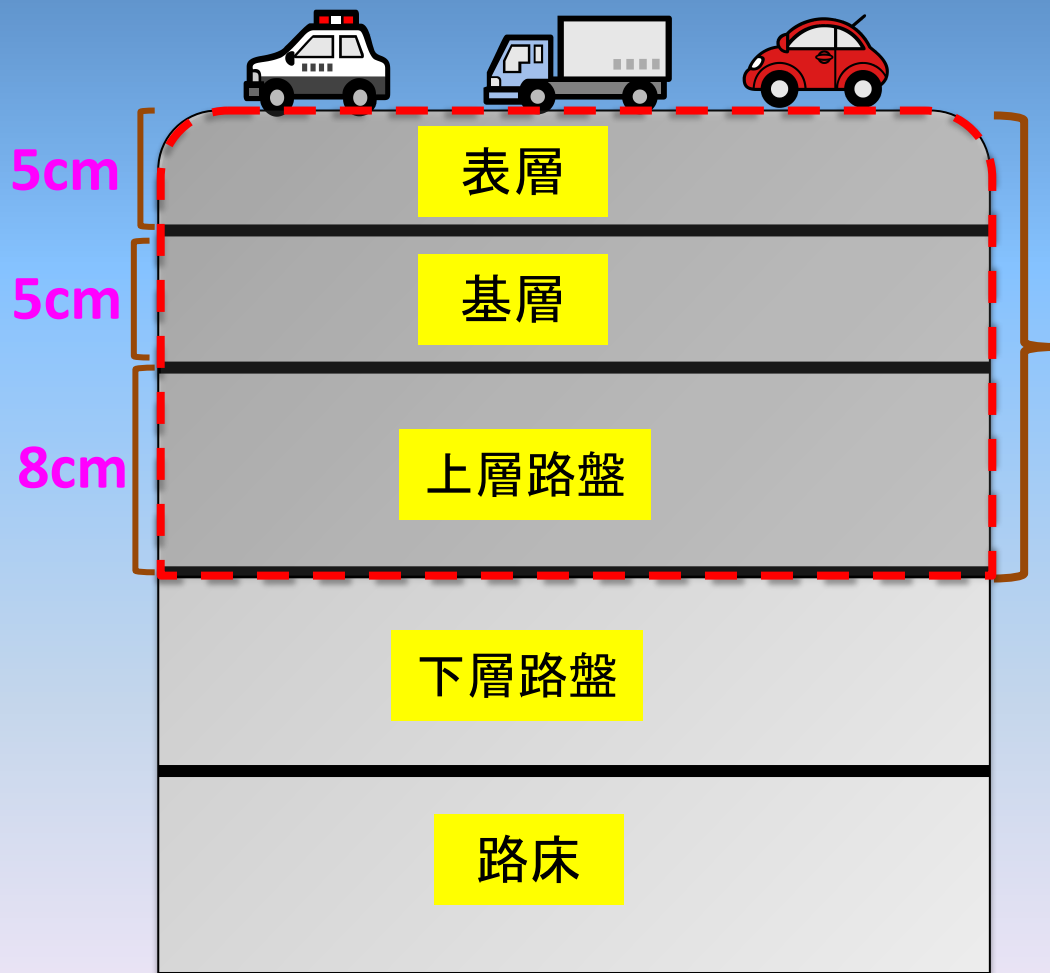
いま、道の駅石鳥谷周辺国道4号で、古いアスファルト合材を削って新しいアスファルト合材を敷ならす舗装工事を行っています。

暑い夏の日差しの中、どのように作業を行っているのでしょうか。



今回の舗装工事は・・・

# 【道路の舗装構造】



この部分に凹凸やひび割れが見られたので、削って新しい舗装をしています

# 時間との勝負

午前／午後で、道路を1車線ずつ規制しながら舗装を行います。  
規制できる時間は決まっているので（朝夕のラッシュ時間に重ならないように）、段取りよく作業が進むよう気を配っています。

—現場代理人談—



現場代理人

工事現場の一切を取り仕切る。

暑い日も雨の日も常に現場に立ち、

作業員の体調に気を配りながら、作業も滞りなく進める。



監理技術者

# 舗装用の建設機械(アスファルトフィニッシャー)が来る前に...



1車線ずつ舗装するので、隣の車線にアスファルトがはみ出ないように木枠で囲い、さらに釘で固定。後方からフィニッシャーがやってくるので、迅速さが求められる。



# 高温アスファルトとの戦い

外気温30℃を超えるなか、約165℃のアスファルト合材を機械に移し、ゆっくり前進しながら止まることなく敷ならしていく。



## 機械の運転



## 舗装の厚さを調整



# 固める 冷やす

まだアスファルトがふかふかした状態なので、転圧機械で締め固める。

一定の密度が得られるまで、一次転圧で約4往復 二次転圧で約8往復する。

その後、路面温度が50℃以下になったら（作業終了から約2時間後）交通解放。

そして午後には、もう1車線を同様に舗装する。まさに時間との勝負！現場内に無駄な動きは一切ない。

